

かがやく子 特別版

平成 29 年 2 月 20 日
滑川市立寺家小学校

「教育活動アンケート」結果を報告します！

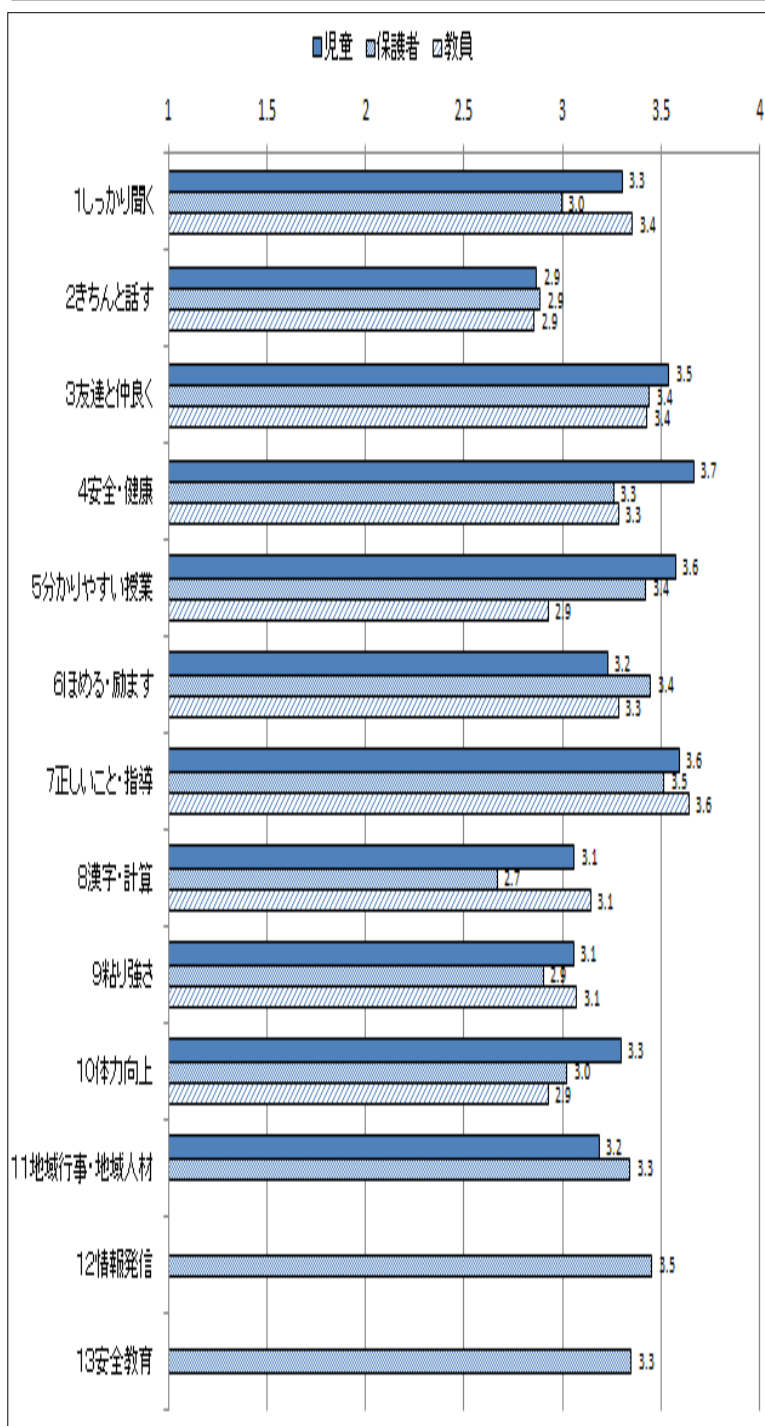
2 学期の終わりに、本校の児童・保護者・教員を対象に教育活動アンケートを実施いたしました。この調査を通して、学校運営の目標の達成状況や取組等について評価することにより、組織的・継続的な改善を図ることをねらいとしています。

教育活動アンケートの結果

【グラフの見方】 各質問に対する回答を下記のとおりに数値化して、調査対象ごとに平均を算出しました。

■ と思う 4 点 □ だいたいと思う 3 点 ▨ あまり思わない 2 点 ○ 思わない 1 点

グラフの 4.0 に近いほど「と思う」という回答に近いことになります。



| アンケートの質問一覧 | |
|----------------|---|
| 児童への質問 | |
| 1 | 授業中、友達や先生など、人の話をしっかりと聞いている |
| 2 | 授業中、自分の思いや考えを、伝えたい相手にきちんと話している |
| 3 | 友達となかよく遊んだり、助け合って活動したりしている |
| 4 | 「命はひとつ！」安全や健康に気をつけて、けがをせず元気にすごしている |
| 5 | 授業のとき、先生は、分かりやすく教えてくださる |
| 6 | 先生に、ほめられたりはげまされたりしている |
| 7 | 自分が悪いことをしたとき、先生はしんげんに注意してくださる |
| 8 | 漢字や計算の学習に、自分から取り組んでいる |
| 9 | 自分で決めたことは、最後までねばり強く取り組んでいる |
| 10 | 休み時間や放課後に進んで運動している |
| 11 | 地域の行事に進んで参加している |
| 保護者への質問 | |
| 1 | お子さんは、人の話をしっかりと聞いている |
| 2 | お子さんは、自分の思いを相手にしっかりと話している |
| 3 | お子さんは、友達となかよく遊んだり活動したりしている |
| 4 | お子さんは、安全や健康に気をつけて生活をおくっている |
| 5 | 先生は、分かりやすい授業づくりに努めている |
| 6 | 先生は、お子さんをほめたり励ましたりしてくれる |
| 7 | 先生は、お子さんに正しいことや決まりについて指導してくれる |
| 8 | お子さんは、家の人に言われなくても漢字や計算の学習に取り組んでいる |
| 9 | お子さんは、自分の決めたことは最後まで粘り強く取り組んでいる |
| 10 | お子さんは、積極的に運動に取り組み、体力の向上に努めている |
| 11 | 学校は、地域等の人材と積極的に関わりをもち、教育活動の充実を図っている |
| 12 | 学校は、教育方針や教育活動の様子を、便りやホームページ等で家庭・地域に知らせている |
| 13 | 学校は、交通安全指導や避難訓練の実施、不審者対応など安全教育に努めている |
| 教員への質問 | |
| 1 | 授業中、あなたは、友達や先生の話もしっかりと聞くように指導をしている |
| 2 | 授業中、あなたは、児童の思いや考えを話し合う授業を行っている |
| 3 | 友達となかよく遊んだり、助け合って活動したりできるように指導している |
| 4 | 安全や健康に気をつけて学校生活を送ることができるように指導をしている |
| 5 | あなたは、教材や教具を工夫して、分かりやすい授業づくりに努めている |
| 6 | あなたは、児童のよい言動やがんばっていることを、認めほめている |
| 7 | あなたは、児童の間違った言動には、真剣に注意している |
| 8 | 漢字や計算の定着を図って指導を工夫している |
| 9 | 日頃から、めあてをもつて取り組むように指導をしている |
| 10 | 運動の楽しさや喜びが味わえる指導を行っている |

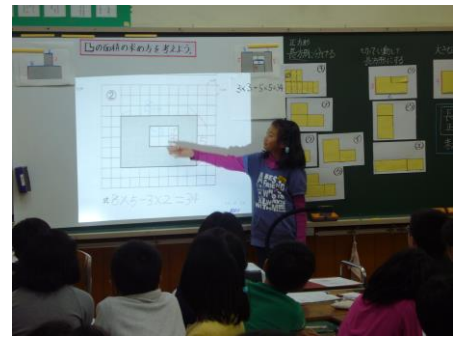
教育目標の重点の達成状況と改善の方策

(1) 確かな学力 —知識及び技能を確実に身に付け、学び合おうとする子供—

質問 1 2 5 8

【成果】

- ・質問5「分かりやすい授業」について、児童回答は昨年度より0.1ポイント上がりました。今年度、滑川市教育委員会の補助を受けて、各教室に実物投影机及びプロジェクターを配置しました。これによって、教師が写真や図を拡大して具体的に説明できるようになりました。さらに、子供たちのノートや資料等を映して考えの筋道や根拠等を明確にさせ、子供たち同士による学び合いを支援するなど、「主体的・対話的な深い学び」が展開するようになっています。
- ・漢字と計算の定着を確認する「チャレンジテスト」(年2回実施)において、80点以上とれると合格としています。今年も合格率98%という数値目標を掲げました。第1回は、学校全体で漢字は97.8%、計算は98.9%の合格率となるなど、基礎基本の定着にも努めています。



【面積の求め方を説明している児童】

【課題と方策】

- ・質問2「きちんと話す」の項目が聞くよりも低くなっています。どの子供にも話す機会を確保するために、ペア学習やグループ学習等、話す場づくりを積極的に進めていきます。また、子供たち同士が対話しやすいように、机の配置をコの字型にするなどの工夫をします。

(2) 豊かな心 —思いやりと正しい判断力をもった心豊かな子供—

質問 3 6 7 9

【成果】

- ・質問3「友達と仲良く」に関して、ほぼ昨年度同様の結果になりました。学校では、子供たちが多様な個性と関わり認め合えることができるよう、「四つの星」を輝かせる児童会活動、児童年間を通した「縦割り班活動(異年齢交流)」や自分の得意とする技や表現を発表する「チャレンジ集会」を実施するなど、児童活動の充実を図っています。その一方で、人間関係に関わる児童の潜在的な悩みや不安を早期に発見し、担任が周囲の教員と相談し組織的に対応しています。

【課題と方策】

- ・質問9「粘り強さ」について、児童回答は昨年度より0.2ポイント下がりました。例えば、授業中課題を提示して、すぐに「分からん」「できん」という言葉が聞こえることがあります。その時は、課題の意味を確認して、子供が既習内容や生活経験等を用いて解決できるようにしています。その他の場面においても、一人一人が見通しをもって学習活動ができるように配慮します。また、日頃より、反復練習などの積み重ねによる成果を自覚できるようにしたり、一人一人の学習スピードに応じた課題や支援を工夫したりして、課題解決に対する自信や意欲、粘り強さを培っていきます。

(3) 健やかな体 —健康な体づくりに励み、命を大切にすること—

質問 4 10 13

【成果】 質問10「体力向上」では、昨年度とほぼ同様の結果となりました。

【方策】 今年度、育友会の協力を得て夏休みのプール開放にて常時水泳検定ができるようになりました。また、季節に応じて「さわやかランニング」や短縄跳び等を行ったり、年間を通じて縦割り班による大縄跳び大会を実施したりして、運動の日常化を図っています。そして、自分の頑張りを「みんなチャレンジ3015」(県教育委員会発行)に記録し、自分の励みとなるよう支援していきます。

(4) 地域・家庭・学校との連携 質問 11 12

【成果】 質問11「地域行事・地域人材」に関して、昨年度より児童は0.2ポイント、保護者は0.1ポイント上がりました。

【方策】 学校では、学ぶ意欲を高めるために積極的に地域人材等による出前授業や体験的な学習を実施しています。3学期には「子ども図書館」の職員による出前授業を行い、休日や長期休業中における「子ども図書館」の活用を推進します。その他にも、寺家小学校区には、子供たちの学びの場、豊かな体験ができる場がたくさんあるので、教育計画に位置付けて積極的に活用していきます。